

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●情報ネットワーク科学研究会・複雑コミュニケーションサイエンス研究会合同ワークショップ

第1回 情報ネットワーク科学 (NetSci) ワークショップ

委員長 村田正幸 (阪大)

副委員長 会田雅樹 (首都大東京)・中村 元 (KDDI)

第1回 複雑コミュニケーションサイエンス (CCS) ワークショップ

委員長 岡本英二 (名工大)

副委員長 田中久陽 (電通大)・長谷川幹雄 (東京理科大)

開催趣旨

情報ネットワーク技術は私たちの生活や社会を支える最重要技術の一つとして目覚ましい発展を遂げてきました。それにつれて、大規模化かつ複雑化する情報ネットワーク技術の研究開発を支える学術的基盤の適応限界が広い範囲で意識されはじめ、これらの限界を超えた新たな基盤構築の必要性が世界的に認識されるようになってきました。このような問題意識を共有する通信サイエティ「情報ネットワーク科学時限研究専門委員会 (NetSci)」と基礎・境界サイエティ非線形理論とその応用サブサイエティ (NOLTA)「複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会 (CCS)」が横断的で学際的な議論の場を持つべく合同でワークショップを開催致します。御参加を御検討頂けましたら幸いです。

期日 平成24年8月9日 (木)、10日 (金)

会場 北海道大学

基調講演

「新世代ネットワークと情報ネットワーク科学」

村田正幸 (阪大)

「複雑系数理モデル学の工学応用研究について」

堀尾喜彦 (東京電機大)

招待講演

「新世代ネットワーク及び将来インターネットに関する国内外の研究プロジェクトに関する状況について」 西永 望 (NICT)

◎参加申込は、下記のホームページから行って下さい。

<http://www.ieice.org/~netsci/>

その他、プログラムなど詳細な情報は、投稿先の研究会のホームページに掲載致しておりますので御参照下さい。

NetSci : <http://www.ieice.org/~netsci/>

CCS : <http://synchro4.ee.uec.ac.jp/~CCS/>

◎科学技術振興機構 ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトワークショップ併催

【問合先】

NetSci : 巳波弘佳 (関西学院大)・成瀬 誠 (NICT)・久保 健 (KDDI 研)・井上 武 (JST ERATO)

E-mail : netsci-admin@mail.ieice.org

CCS : 長谷川幹雄 (東京理科大)・中尾裕也 (東工大)・

青野真士 (理研)・関屋大雄 (千葉大)・鳥飼弘幸 (阪大)

E-mail : hasegawa@ee.kagu.tus.ac.jp

主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会、複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会

●短距離無線通信研究会 (SRW)

専門委員長 加藤修三 副委員長 原田博司・加藤正文

日時 平成24年8月20日 (月) 10:20~17:15

会場 芝浦工業大学豊洲キャンパス (江東区豊洲3-7-5. http://www.shibaura-it.ac.jp/about/campus_toyosu.html TEL [03] 5859-8252 久保田周治)

議題 WPAN, センサ関連技術, 一般

1. [招待講演] 日本のホワイトスペース通信に係る法規制に関する検討状況 原田博司 (NICT)

2. [招待講演] IEEE 802.11af 標準化の概要 Zhou Lan (NICT) 午後

3. 低速 BPSK 変調方式による高精度ミリ波レーダ方式の提案 ○佐藤雄一・沢田浩和・加藤修三 (東北大)

4. アクティブ・タグを用いた歩行誘導システムの検討 ○工藤一馬・久保田周治 (芝浦工大)

5. 耐隣接チャネル干渉 OFDM 伝送方式の検討 ○王 飛・久保田周治 (芝浦工大)

6. センサネットワーク用送信センサ選択型協調ビーム形成法の一検討 ○平井大暁・富里 繁・田野 哲・秦 正治 (岡山大)

7. 同一チャネル干渉下における周波数オフセット推定法の特徴 ○長谷部雅孝・田野 哲・富里 繁・秦 正治 (岡山大)

8. 平面スロットアレーアンテナを使用した120 GHz帯無線による10 Gbps データ伝送 ○枚田明彦・竹内 淳・高橋宏行・久々津直哉 (NTT)・キム ドンジン・広川二郎 (東工大)

9. [パネルディスカッション] 短距離無線通信のセンサへの応用

司会 : 加藤修三 (東北大), 短距離無線に携わる方々をパネリストに招待し, 議論する

参加費 一般2,500円, 学生1,500円

◎研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月15日 (月) NICT 本部 [8月20日 (月)] テーマ : WLAN 関連技術, 一般

12月10日 (月) 東京 [10月15日 (月)] テーマ : Network, MAC, Adhoc 関連技術, 一般

2月28日 (木) 早大 [12月10日 (月)] テーマ : WLAN, WPAN 関連, 一般

【発表申込・問合先】

沢田浩和 (東北大)

TEL [022] 217-6112, FAX [022] 217-5476

E-mail : sawahiro@riec.tohoku.ac.jp

◎最新情報は, SRW 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~srw/>

主催 短距離無線通信時限研究専門委員会

●第4回光通信インフラの飛躍的な高度化に関する研究会

委員長 鈴木正敏 (KDDI 研)

副委員長 淡路祥成 (NICT)・宮本 裕 (NTT)・盛岡敏夫 (デンマーク工科大)

日時 平成24年8月30日 (木) 9:15~11:30

会場 サン・リフレ函館 (函館市大森町2-14. JR 函館駅から徒歩)

歩 15 分, 函館バス「サン・リフレ函館前」停留所から徒歩 1 分. <http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/keizai/roudou/s-refre/> TEL [0138] 23-2556)

テーマ: 空間分割多重伝送技術に関する国際動向報告と, 我が国の取り組み状況

概要

光ファイバ通信の容量枯渇問題への切り札として, 日本が世界に先駆けて提案・開拓してきた空間分割多重の新分野は, 当研究会の活動開始より急激に参入機関が増加し, 現在も国際会議などを席巻しています. このような背景を受けて, 当研究会は本年度より装いを新たにし, これまでの取り組みに加えて, 技術の海外展開及び国際協調を促進する役割を担うこととなりました. 今回の研究会では, 当委員会が直接的・間接的に関係する国際ワークショップなどの最新動向を御報告頂きます. また, このような国際展開を進める上で, 関連分野の国内横断的な連携体制の強化も重要な課題であることから, 産官学連携の取り組みについての最新の研究状況を御紹介頂きます. 多数の皆様の御参加をお待ちしております.

プログラム

[招待講演] IEEE Photonics Society 2012 Summer Topical Meetings 報告 (SDM 関連) 佐々木 隆・林 哲也 (住友電工)

[招待講演] COIN 2012/EXAT ワークショップ報告

廣岡俊彦 (東北大)・齊藤晋聖 (北大)・盛岡敏夫 (デンマーク工科大)

[招待講演] 革新的光通信インフラの研究開発プロジェクト

高良彦彦 (NTT)

[招待講演] マルチコアファイバ分布ラマン増幅用アレイ化励起光源

鈴木賢哉 (NTT)

[招待講演] 19 コアファイバーを用いた大容量空間多重伝送

坂口 淳・淡路祥成 (NICT)

参加資格: 特に問いません.

参加費: 一般 3,000 円 学生 無料

参加申込: 当日会場にて受け付けます.

◎最新情報は, 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会 (EXAT 研究会) のホームページを御覧下さい.

<http://www.ieice.org/~exat/>

【問合せ先】 幹事

福知 清 (NEC)

TEL [044] 396-2816, FAX [044] 435-1096

E-mail: exat-contact@mail.ieice.org

主催 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会

●CQ サマースクール

「コミュニケーションクオリティ概論と OpenFlow 実習」

実行委員長 山崎達也 (NICT)

日時 平成 24 年 8 月 30 日 (木) 10:00~17:00

31 日 (金) 10:00~17:00

会場 国立情報学研究所 (千代田区一ツ橋 2-1-2, 学術総合センター 20 階 2004, 2005 室. <http://www.nii.ac.jp/about/access/>)

プログラム (仮)

30 日

1. [チュートリアル講演 1] ネットワーク QoS 計測並び障害検

知 長谷川 亨 (KDDI 研)

2. [チュートリアル講演 2] ネットワーク性能評価概論

大崎博之 (阪大)

3. [実習関連講演] OpenFlow 概説

下西英之 (NEC)

4. OpenFlow 実習

31 日

1. [チュートリアル講演 3] 無線ネットワークにおける通信品質と帯域利用効率の評価方法

平栗健史 (日本工大)

2. [チュートリアル講演 4] 主観品質評価法と実験計画

岡本 淳 (NTT)

3. グループ演習

4. 成果発表会

概要

ブロードバンド通信の普及に伴い, 電話サービスや映像サービスなど多種多様な通信サービスがインターネット上で提供されるようになってきました. これらの次世代サービスを支える通信インフラには多種多様な通信品質 (CQ) の提供が求められます. また, 東日本大震災を契機として, 災害時や緊急時の通信サービスのあり方についても議論が始まっています. このように, 新世代のネットワークにおいては, 多様なサービスや状況に応じたテーラード型の品質制御技術が重要となります.

コミュニケーションクオリティ研究専門委員会では, 次世代/新世代ネットワークにおけるサービス品質 (QoS), ユーザ体感品質 (QoE) の視点から, 将来的に通信品質に関する研究をリードし得る国際的視野を持った研究者を育成することを目的とし, 新たな試みとして, 学生や若手研究者を対象とした CQ サマースクールを 2 日間にわたって開催します.

今回は, コミュニケーションクオリティ概論として, ネットワークの通信品質研究に携わる第一線の研究者による有線・無線ネットワークの計測, 制御, 評価に関わるチュートリアル講演を予定しています. また, 世界的に注目されている OpenFlow 技術に焦点を当て, 実習を通して OpenFlow に関わるネットワークプログラミングに関する基礎技術の習得を目指します. 座学にとどまらず実習内容に関するグループワークや成果発表会を通して, 活きた知識の獲得, 産学・組織の壁を越えた人脈の形成が期待できます.

【参加申込】

参加対象者 学生 (修士課程以上を想定) 及び若手研究者

募集定員 30 名程度 (申込先着順)

締切日 8 月 10 日 (金)

参加費 無料

申込方法: 下記 CQ サマースクールのホームページより参加登録を行って下さい.

<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/cqssl/index.html>

【問合せ先】

中内清秀 (NICT)

E-mail: cq_ac-cqss-members@mail.ieice.org

主催 コミュニケーションクオリティ研究専門委員会